

謹賀新年



年頭のごあいさつ
葛巻町長 鈴木 重男

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し
新たなまちの拠点、新庁舎着工目指す



明けましておめでとうござ
います。

本年が皆さまにとりまして、
明るく希望に満ち溢れる素晴
らしい年でありますようお祈
り申し上げます。また、日頃
から町政全般にご理解とご協
力を賜っておりますことに
心から感謝申し上げます。

高規格道路構想の実現 期成同盟会設立で前へ

昨年は、葛巻町消防団第1
分団が岩手県消防操法競技会
ポンプ車の部で12年ぶり2度
目の優勝に輝き、大きく活躍
した年でありました。また、
県立葛巻高校の創立70周年、
葛巻町体育協会の創立60周年
など、町に新たな歴史が刻ま
れた一年でもありました。

また、町の最重要課題であ
る「人口減少対策」におきま
して、年間を通じた人口の社
会増減率では5年前に県内で
31番目であったものが、平成
30年1月には9番目となるな
ど、減少率が着実に改善され
ております。これまでのさま
ざまな取り組みが、確実に成果
として表れ、数値データから
も実感できるものであります。
さらには、昨年10月、本町
のほか久慈市、八幡平市、岩
手町、普代村、野田村の6市

動を進めてまいります。

トヨタグループと連携協定 全国初の試みで課題を解決

地域課題の解決を目指し、
町はトヨタグループと「まち
づくりに関する包括連携協
定」を締結いたしました。

この協定は、トヨタグルー
プが取り組む「トヨタ地域
貢献プロジェクト」の一環で
グループとして、まちづくりを
支援する連携協定を締結する
ことは、全国初の試みとなる
ものであります。

トヨタグループのネット
ワークを活用して、町の魅力
を町内外に発信する地域情報
配信システム「ライフビジョ
ン」を4月から運用開始予定
であります。町が抱える人口
減少問題や町特産品の販路拡
大など、地方創生に向けた取
り組みをさらに進めてまいり
ます。

「トヨタ」「ホンダ」「日産」 3社が基軸のまちづくり

本年は、町道茶屋場田子線
改良事業や江刈地区水道整備
事業の完成、新たな「まちの
拠点」として、さまざまな機
能を一方所に集約した役場新
庁舎の着工を目指しておりま
す。また、新葛巻型酪農構想
の実現に向けた事業の推進を

町村で構成する「北岩手・北
三陸横断道路整備促進期成
同盟会」の設立総会を開催し、
高規格道路構想の実現に向け
て力強い第一歩を踏み出しま
した。

期成同盟会が目指す横断道
路は、八幡平市の東北自動車
道西根インターチェンジから
野田村の三陸沿岸道路野田イ
ンターチェンジ（仮称）をつ
なぐ構想であります。

現代版「塩の道」として、
わが町の基幹産業である酪農、
林業を代表する、高品質な牛
乳やカラマツをはじめとする
木材、さらには県北地域が持
つ豊富で魅力的な資源、これ
らを最短かつ迅速な輸送に
よる運搬コストの低減や所得
向上はもとより、産業、防災、
医療、観光と多面的な分野に
おける県北地域の発展のため
に、道路網の整備は欠かさず
とができないものであります。
また、一分一秒を争う緊急
搬送時には、まさに「命の
道路」としての役割を果たす
非常に重要な道路となるもの
であります。

今後、期成同盟会6市町村
結束のもと、構想の早期実現・
着工を目指して、国や県をは
じめ関係機関に対して要望活

はじめとする基幹産業の振
興に重点を置いた施策を実
施し、より生活に密着した
ソフト事業の充実も図りな
がら、町民が安全で安心し
て暮らすことのできるまち
づくりに向け、積極果敢に
挑戦してまいります。

全国的に「地方創生」へ
の取り組みが進む中、21世
紀の地球環境規模での課題
とされる「食料・環境・エネ
ルギー」のすべてに貢献で
きるのは私たちが住む山村
であります。

今後、さらに一歩前進す
るために、総合計画で目指
す、いきいきと輝き続ける
「ひと」、誰もが住みたくな
る「まち」、地域資源を活
かす「しごと」の3つの基
本目標の実現に向けて、皆
さまと英知を結集しながら、
まちづくりに挑戦してまい
ります。

引き続きご支援とご協力
を賜りますよう、お願い申
し上げます。

年頭に当たりまして、皆
さまのご健康とご多幸をお
祈り申し上げますとともに、
本年もなお一層のご活躍を
ご祈念いたしまして、新年
のごあいさつといたします。